

令和五年度 国語科

教科	国語科	科目	古典演習	単位数	3	年次／コース	高校3年生/特進文系
使用教科書							
副教材など	尚文出版 マーク試験のための基本練習 古典10 尚文出版 共通テスト対策 国語完答32 新修 古典文法(京都書房) 出る順に学ぶ 頻出古文単語400 (Z会出版)						

1. 担当者からのメッセージなど(学習方法など)

これまでに高校で必要とされる古文単語、古典文法、漢文句法の知識は全て学習が終わっていますので、それが定着しているか否かを最初に確認しなければなりません。また、それらの基礎知識が定着した上で、初見の読解問題に対応するための練習が必要になります。つまり、長文読解を繰り返しながら省略表現を補うことができる技術を身につけたり、曖昧に表現されている内容を明確に解釈できる技術を身につけたりするための練習が必要です。そのためにはなるべくたくさんの古文を読み進めて主体的に読解に取り組むことが大切です。古典演習の授業は問題演習の繰り返しになりますが、皆さんが積極的に読み進めること、自ら気付くことが何よりも大切です。

2. 学習の到達目標

古典文学を扱うことで、日本語の源流となった言語や文化について理解を深め、日本の古典文化に興味を持つことができる生徒を育てる。また、古典の文章を正確に読解するために必要な知識・技能を生かし、互いに協力しながら長文を正確に読解する過程で、主体的に思考する態度を養う。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	A: 関心・意欲・態度	B: 話す・聞く能力	C: 書く能力	D: 読む能力	E: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	古典の文章を読み取るための基礎知識を積極的に身につけようと努力する。またその知識をもとにして積極的に古典を読み取ろうとする態度を示す。	文章読解をもとにした意見交換の場では、自分の解釈を述べるとともに、相手の意見を尊重して、正確な読解のために貢献することができる。	自分の考えを文章として正確に表現することができる。また、自ら考え、根拠を踏まえて表現することができる。	古文や漢文を、語句や文法の知識を応用して正確に読み取ることができる。また、省略や曖昧な表現が含まれた文章内容も読み取ることができる。	古典の読解に必要な古語や古典文法や、漢文の句法などの知識を理解習得することができる。
評 価 方 法	定期考査 宿題・課題 リフレクション 授業姿勢の評価	この科目では扱わない	この科目では扱わない	定期考査 宿題・課題 リフレクション	定期考査 小テスト リフレクション

--	--	--	--	--	--

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			A	B	C	D	E		
一 学 期	基本演習 第1回	古文読解 漢文読解	○			○	○	AD積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 DE 演習問題の解き方を習得する。	・問題演習 ・リフレクション ・定期考査
	基本演習 第2回	古文読解 漢文読解	○			○		AD積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 DE 演習問題の解き方を習得する。	・問題演習 ・リフレクション ・定期考査
	基本演習 第3回	古文読解 漢文読解	○			○	○	AD積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 DE 演習問題の解き方を習得する。	・問題演習 ・リフレクション ・定期考査
	基本演習 第4回	古文読解 漢文読解	○			○	○	AD積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 DE 時間配分に注意し、速く正確に解答する。	・問題演習 ・リフレクション ・定期考査
	文学史	文学史					○	E 上代・中古の文学史の知識が定着できた。	・定期考査
	中間考査								
	基本演習 第5回	古文読解 漢文読解	○			○		AD積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 DE 時間配分に注意し、速く正確に解答する。	・問題演習 ・リフレクション ・定期考査
基本演習 第6回	古文読解 漢文読解	○			○	○	AD積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 DE 時間配分に注意し、速く正確に解答する。	・問題演習 ・リフレクション ・定期考査	
基本演習 第7回	古文読解 漢文読解	○			○	○	AD積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。	・問題演習 ・リフレクション	

							DE 時間配分に注意し、速く正確に解答する。	シヨン ・定期考査	
	基本演習 第 8 回	古文読解 漢文読解	○			○	○	A D 積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 DE 時間配分に注意し、速く正確に解答する。	・問題演習 ・リフレクシヨン ・定期考査
	文学史	文学史				○		E 中世・近世の文学史の知識が定着できた。	・定期考査
期末考査									
二 学 期	第 1 回 蜻蛉日記 蒙求	古文読解 漢文読解	○			○	○	A D 積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 DE 文脈を基準にして「ものす」の意味を捉えることができる。	・問題演習 ・リフレクシヨン ・定期考査
	第 2 回 平家物語 論語	古文読解 漢文読解	○			○		A D 積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 D 複数の文章を総合して解答を導くことができる。	・問題演習 ・リフレクシヨン ・定期考査
	第 3 回 多武峰少将 物語 詩話	古文読解 漢文読解	○			○	○	A D 積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 E 「なむ」用法が理解できている。 E 受身の句法が定着している。	・問題演習 ・リフレクシヨン ・定期考査
	第 4 回 枕草子 呻吟語	古文読解 漢文読解	○			○	○	A D 積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 DE 敬語表現を理解しながら読解を進められる。 DE 否定の用法を理解して読解を進めることができる。	・問題演習 ・リフレクシヨン ・定期考査
	文学史	文学史					○	E 近代の文学史の知識が定着できた。	・定期考査
	中間考査								
	第 5 回 山路の露 五雑俎	古文読解 漢文読解	○			○		A D 積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 D 文脈を参照して和歌を解釈することができる。	・問題演習 ・リフレクシヨン ・定期考査
	第 6 回	古文読解	○			○	○	A D 積極的に古文・漢文の長文の内容を捉え	・問題演習

恵の旅笠 謝小岷伝	漢文読解						ようとする。 E 使役の知識をもとに正しく書き下し文に直すことができる。	・リフレクション ・定期考査
第7回 八雲御抄 言志録	古文読解 漢文読解	○			○	○	A D積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 DE「る」の用法を理解して解釈を進めることができる。	・問題演習 ・リフレクション ・定期考査
第8回 六代勝事記 伝習録	古文読解 漢文読解	○			○	○	A D積極的に古文・漢文の長文の内容を捉えようとする。 DE 反語の用法を理解して読解を進めることができる。	・問題演習 ・リフレクション ・定期考査
文学史	文学史				○		E 文学史の知識が定着できた。	・定期考査
期末考査								